

# つちうら恋物語～寄り添い合うまち～

班員：メルリーニ愛乃(班長)・江端杏奈（副班長）・芦田佳樹・高木力貴也

TA：秋保佳祐

## 1. 目標都市像

市と市民が協力しあい、まちをよくする寄り添い合うまちを目標都市像として掲げる。ここでは市民が主体的に地域活動をし、市が市民の活動をサポートしていくという形を理想とする。この目標都市像を実現するために、教育・環境・つながりの3項目を整備する事で地域活動のベース作りを行い、市民似寄る地域活動を活発にしていく。

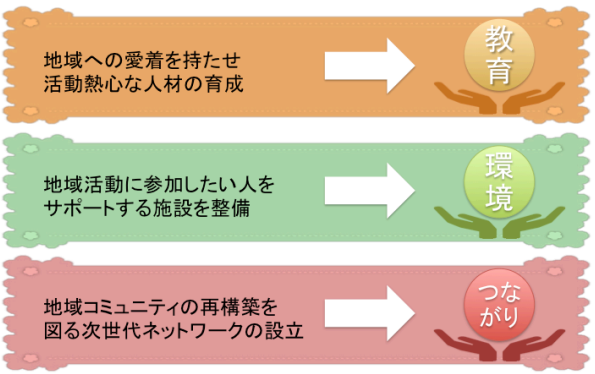


図 1 施策説明図

## 2. 先行研究・調査

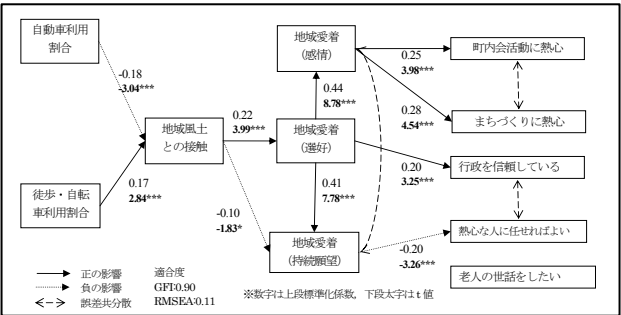


図 2 地域愛着が地域への協力行動に及ぼす影響

図 2 は地域愛着が地域への協力行動に及ぼす影響である。これより地域愛着とまちづくり活動への熱心さは正の相関があることがわかる。

図 3 は平成 27 年度のつくば市と土浦市の市民満足度調査の結果である。つくば市は 80%の人が愛着があると答えているのに対し、土浦市は 64%にとどまっている。また、土浦市は愛着がないと答えた人の割合が 30%に上っており、つくば市と比較すると土浦市に対する愛着は少ないことが分かる。

そこで我々は市民に土浦市に対して愛着を持ってもらうことにより地域活動を行ってもらうことを目標にした。

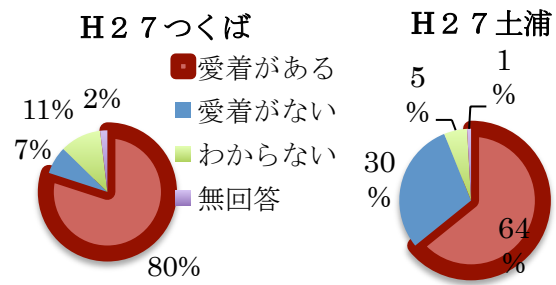


図 3 市に対する愛着平成 27 年市民満足度調査

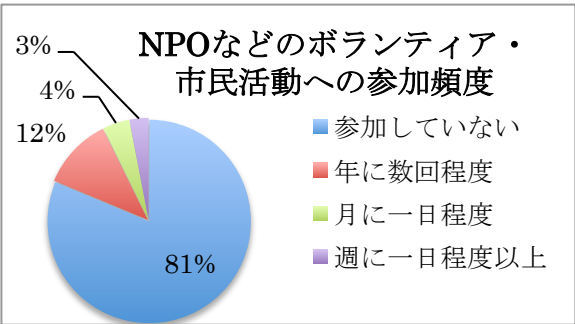


図 4NPO 等のボランティア・市民活動への参加頻度

図 4 から分かる通り現時点で 8 割の市民は NPO などのボランティア・市民活動に参加していない状況である。地域活動に参加しない人のうち 31.9%の人が地域活動に関心を持っているが、参加するまでに至らないという結果がある。また、霞ヶ浦総合公園での市民ヒアリングにおいては地域活動に参加したいが時間やきっかけ、情報に恵まれないという声が聞かれた。土浦市マスタープランによると市民の 60%は地域活動に関心があるにも関わらず、このような結果が出るのは非常にもったいない状況である。そこで我々は地域活動に関するきっかけや情報を提供できる場が必要なのではないかと考えた。

## 3. 教育

背景

図 6 から分かるように子供の頃に地域活動を多く経験すると大人になってからの意欲・関心が高まるという研究がある。これにより、子供の頃に土浦の教育を行うことにより成長し大人になったときに地域活動へ

の意欲・関心が高まり行動に移す傾向が生まれるのではないかと考えた。

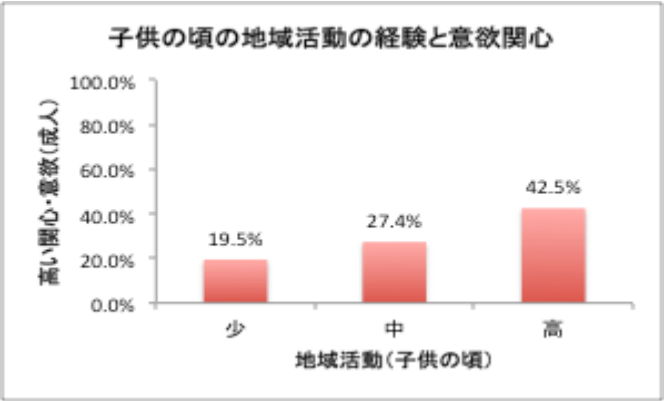


図 5 「地域活動」と「意欲・関心」の関係

施策

背景を踏まえ、我々はまちづくり教育と題し、小学校から高校まで一貫した地域教育プログラムを提案する。小学校低学年、高学年、中学生、高校と子供の成長にあわせて教育の内容をレベルアップさせていき、将来のまちづくりにおけるリーダー育成を目指す。以下では段階ごとに具体的な内容を説明していく。

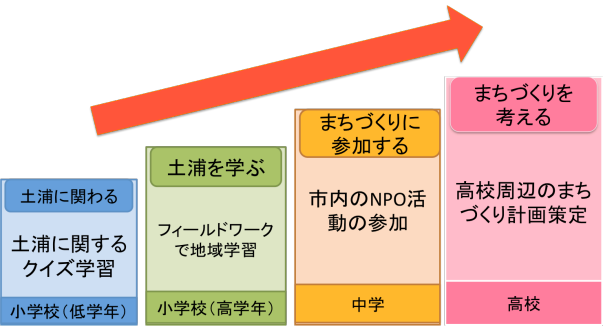


図 6 地域教育の段階図

### ①土浦に関わる（小学校低学年）＜土浦検定＞

小学校低学年では、実際にまちを歩いたり、普段の授業から土浦に関連した内容を取り入れることで土浦というまちに興味を持たせる土浦検定という授業を取り入れる。例えば国語の授業で土浦にゆかりのある小野小町を題材として取り上げたり、生き物を学ぶ際に霞ヶ浦に棲む生き物を取り上げるなどである。さらに、実際に学んだ内容に関する問題をまち歩きをしながら解いてもらう。このように、身近なものに触れる事で、子供たちの土浦への関心を高める事ができる。

### ②まちづくりを考える（高校生）

＜ハイスクールマスタープラン＞

高校生向けのまちづくり教育として、今回我々が行っているマスタープラン実習の簡易版を高校

生に行ってもらおう。まず、筑波大学のマスタープラン策定実習の履修者が高校生にプランの発表を行う。その後高校周辺の調査から始め、課題の発見、解決までを高校生の手で行う。この際、大学生は実習での経験をもとにアドバイスを行う。プランの策定を行うことによって土浦市のことをこれまで以上に深く知ることができ、当事者意識が形成されるのと同時に、問題解決力の向上も期待できる。最後には他学年の生徒や保護者向けにプランを発表することでまちづくりについて考えるきっかけを他の人々にも与える。

また、茨城県の家内会話率は国立教育政策研究所「平成 28 年度全国学力・学習状況調査」より小学生が 80.3%、中学生が 74.1%という結果がある。土浦市公立小学校の生徒数は 7342 名、中学校生徒数は 3692 名であり単純計算でも 8632 名の片親に伝わることになる。これにより、1 年間に地域での活動について知る人は 19666 名にのぼり、地域活動の情報が様々な世代に伝わっていくことも期待できる。

## 4. 環境

調査日時	2017 年 1 月 13 日
場所	商工会議所
対象	NPO 法人まちづくり活性化土浦きららちゃんバス 小林様

### ヒアリング内容

NPO 法人の設立は商店街の人などが集まって土浦をどうにかしないといけないと話し始めたことをきっかけに始まったという。設立の際、行政や他の市民に顔が利く人が当初はいなかったため相手にされないことも多く苦労したそうである。このことからまちづくりについて集まって語れる場所の必要性を感じた。また、行政や他団体へつながりを持つ人や団体の存在が重要なのではないかと考えた。

### 施策 サポートセンター

地域活動に関心を持つ人を増やし、それらの人をサポートすることを目的としたサポートセンターを設立する。現時点でも土浦市民活動情報サイトはあるが情報の閲覧のみにとどまり、話し合いの場としては不十分ではないかと考えた。何かを新たに行う場合は人と人が直接会うことが必要になるのではないかと考えた。そこで市民や団体が集まって話し合える物理的な場所や活動の継続的なサポートシステムを構築する。以下は概要である。



サポートセンター概要	
目的	地域活動に関心を持つ人を増やし、それらの人をサポートする場になること
役割	1. 地域活動に関する情報の蓄積・発信 2. 活動を始めたい人の相談に乗り、助言する 3. 地域活動に参加するきっかけを与える
ターゲット	1. 地域活動に関心がある人 2. 関心があるけど何から始めたらいいかわからない人 3. 地域活動に対しての関心が薄い人

上記のそれぞれのターゲット別にアプローチを行う。  
既に地域活動を行っている人に対しては継続的な支援を行い、活動を通じて生まれた市民のニーズや提案を市に持ちかける。また、活動を行っている人々のノウハウを蓄積させ、その情報を新たに活動始める市民に対して公開していく事で、地域活動を始めやすくなるような環境を作る。地域活動に対して関心が薄い人に対してはまずはこの場にくることを目標とし、その上で関心を持ってもらい興味ある活動を紹介する。土浦市はサポートセンターに対し運営自体のサポートや補助を行っている。

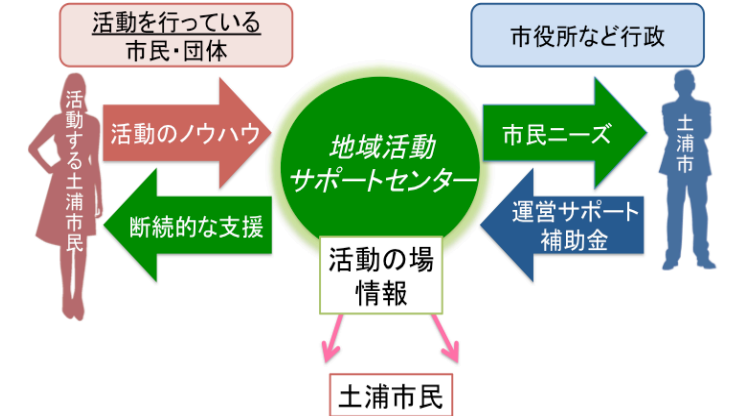


図 7 サポートセンター関係図  
対象地はモール 505 である。モール 505 の現状としては駅の近くではあるが人気が少ない、テナントの確保が簡単、シンボル性が高いという点が上げられる。今のままでは利用してくれる市民は少なく足を運んでくれるような景観整備の必要がある。



図 8 サポートセンター外観イメージ  
サポートセンター内部の機能として、だれでも気軽に

に立ち寄り人と交流する事を目的としたラウンジスペースや市民が活動を行う際にあると便利なサービス（コピー機等）を備えた事務作業スペース、活動を実現させるために相談を受け付けるコーナー等を取り入れる。これらにより地域活動を行う人のサポートだけでなく、まだ活動を知らない人にもまちづくりへの参加のきっかけを与えることができる場所とする。

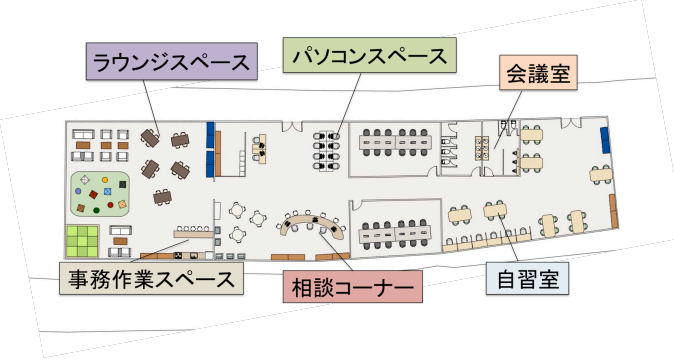


図 9 内装例 1F

5. つながり

現状・背景  
◇ ヒアリング調査

調査日時	2017 年 1 月 11 日
場所	城藤茶店
対象	店主 工藤様

現在、SNS などを使ってイベントや活動についての情報を伝えている。また災害ボランティア活動などいざというときに集まることが出来るのは SNS の力が大きいということだった。  
地域貢献活動の情報を配信する実験（地域におけるソーシャル・キャピタル醸成のための 暗黙的影響関係に基づく SNS 、今城ら 2016）により（図 8）、どうい地域活動に支えられているかを知ることは受益者の地域活動への関心をひくきっかけになるということが分かっている。

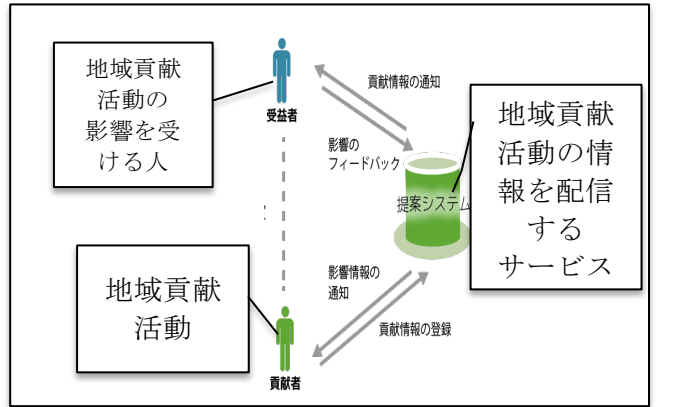


図 10 地域貢献活動の情報発信と地域愛着の関係図

一方、従来の地域 SNS は気軽に利用しにくい、利用者が少ない、自治体では管理しきれないといった理由から普及が進んでいないのが現状である。また、「土浦地域コミュニティ 土浦ネット」というものが存在するが上記の理由により機能していない。そこで我々は

市民が使用したいと感じる地域 SNS を提案する事で市民による活動を拡大するきっかけとしようと考えた。

施策 地域 SNS アプリ *CORABONO*

市民活動団体に関する活動内容やイベントなどの情報を提供し、市民活動への参加機会を広げ活動の活性化を目的とした市民活動に関するポータルサイトこらぼのを発展させアプリケーション化する。このアプリはアプリ化による気軽さの他に、人々に利用してもらい市民による活動を活発にさせるための 5 つの特徴を持つ。以下でそれぞれの特徴を説明していく。

- ① つち NEWS  
土浦に関するニュースをリアルタイムで掲載し、市民の生活に役立つ情報を発信する。アプリの通知機能を用いる事で緊急時等の連絡を市側が迅速に伝える事も可能になる。
- ② イベント紹介コーナー  
市内で行われるイベントの開催情報を掲載する。また、このアプリからイベントへの参加登録を行えるようにして市民がイベントに参加しやすくなるのと同時に、開催する側も参加者の募集を行いやすくなるといったメリットがある。
- ③ 市民ブログ  
ここではイベントや市民活動に実際に参加した人がその内容や様子を書き込む事ができる。これにより、市民目線の情報や意見を発信する事ができるようになり、ブログを見た人々が市民活動を知るきっかけにもなる。
- ④ つちチャット  
つちチャットでは土浦に関する投稿をリアルタイムで投稿する事ができ、この機能を市民間でのコミュニケーションや情報交換のツールとして利用してもらう。
- ⑤ キララポイント  
キララポイントは *CORABONO* を利用する事で手に入れる事ができるポイントで、たまったポイントは商店街等で利用できる商品券や地域通貨キララと交換する事ができる。ポイントはアプリから市内のイベントへの参加登録を行ったり、市民ブログの定期更新で獲得する事ができる。

これらの機能を持ち合わせることによって、市民が気軽に利用でき、かつ利用することによって様々な情報を発信・入手することができるようになる。また、このアプリを通じて今まで市民活動を知らなかった人も、活動に関わる情報を手にする事ができ、市民同士がこのアプリを通じつながりあうことで地域活動をより広めていく事が可能である。



図 11 地域情報アプリ (CORABONO) イメージ

6. まとめ

教育を行う事によって、市民活動に積極的な市民を増やし、コミュニティセンターの設置で市民がより市民活動を行いやすくするきっかけ作りを行う。さらに *CORABONO* で人々をつなげる事で市民活動の拡大を目指す。以上、教育・環境・つながりの施策を行う事によって市民が主体的に活動しやすいシステムを構築することで、市民が主体的に活動しそれを市がサポートしていくというような寄り添い合うまちを実現していく。

7. 謝辞

本実習を行うにあたり多くの皆さまにお世話になりました。ここに感謝の意を表します。  
・ 地立堂 工藤祐治様  
・ つくば市市民活動センター 辻本善信様  
・ まちづくり活性化土浦 小林様  
・ ヒアリングにご協力いただいた皆様

8. 参考文献

- 1) 基盤地図情報サイト・GSI HOME PAGE・国土地理院 [www.gsi.go.jp/kiban](http://www.gsi.go.jp/kiban)
- 2) 土浦市役所ホームページ <http://np0-kirara.org/>
- 3) 土浦市都市計画マスタープラン <http://www.city.tsuchiura.lg.jp/index.html>
- 4) 第 7 次土浦市総合計画 <http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page000545.html>
- 5) 小学生家庭内会話率 <http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/page00003html>
- 6) 小学生の体験活動に関する調査報告 <http://todo-ran.com/t/kiji/19258>
- 7) 子供の体験活動に関する調査報告 <http://www.niye.go.jp/kanri/upload/editor/59/File/10tyukanhokoku.press.pdf>
- 8) 地域におけるソーシャルキャピタル醸成のための暗黙的影響関係に基づく SNS <http://db-event.jpn.org/deim2016/papers/113.pdf>
- 9) 地域 SNS の活用による地域活動活性化に関する研究 [http://library.jsce.or.jp/jsce/open/00039/201211\\_no46/pdf/176.pdf](http://library.jsce.or.jp/jsce/open/00039/201211_no46/pdf/176.pdf)
- 10) 内閣府「国民選好度調査」地域のつながり [http://www5.cao.go.jp/seikatsu/whitepaper/h19/10\\_pdf/03\\_youshi/pdf/07sh\\_yo002\\_1.pdf](http://www5.cao.go.jp/seikatsu/whitepaper/h19/10_pdf/03_youshi/pdf/07sh_yo002_1.pdf)